



役員だより

調和

関西サナトリウム
院長 亀廣 摩弥

新年あけましておめでとうございます。
平成三十年戌年です。

戌年は「戌」字がさすように「滅」する年、つまり草木が枯れて休眠する年とも言われています。「戌」は新しい命を育む縁起の良いものなのです。

さて、昨年は政界や相撲業界では不協和音が鳴り響いた年でした。人が人を批難し評価し、自分勝手に持論を展開する人たちがテレビを賑わせていました。

人は偉くなると驕ってしまうものです。そこを抑え、謙虚にしておごらず日々心を高めていかなければなりません。人の上に立つ者は才覚より品格が問われます。人並み外れた才覚の持ち主であればあるほどその才に溺れないようにすることが必要です。

今年の法人のテーマは「調和」です。

調和とは自分だけではなく周りの人々みんなが幸せに生きることを願う心です。医療をしていく上で調和は非常に大切なことです。患者様を治療していく上でそれぞれの部署が勝手なことをしてしまおうと善い医療は提供できません。互いが助け合い認め合い響き合うことが調和を生み出し正しい善い医療を提供し、社会貢献に繋がっていきたくと願っております。

参考著書…稲盛和夫「京セラフィロソフィ」

お知らせ

身体拘束の勉強会を開催しました



「身体拘束」は、本人の人権を守るために法令などで限定的な運用が求められていますが、残念ながら介護や医療現場で行われています。

統合失調症や認知症の人らが入院している精神科病院の場合は、精神保健指定医の指示により身体拘束が行われます。主に多動又は不穏が顕著なかた、自殺を企てたりするかたが対象になります。

当院でもやむを得ず身体拘束を行うことがあります。身体拘束は本人様への負担も大きく、また家族様の精神的ショックや現場スタッフの士気低下にもつながりかねません。そのため、定期的に勉強会を開催し、身体拘束に関する適切な知識の習得や患者様への負担軽減を目的とした技術習得に努めております。

身を守るため、周囲の人たちの安全を守るためにはやむを得ない身体拘束ですが、身体拘束を受けたのが自分だったら、自分の身近な人だったらと考えると難しい問題です。

今後も職員一同で行動制限最小化に取り組んでいく次第です。

関西サナトリウム
三病棟 看護師

担当：坂口 浩一

新任医師の紹介

当院に新しく1名の医師が着任いたしました。より診療体制の整備に向けて、新しく仲間と共に病院理念である「一隅を照らす」医療を目指し、今後も努めて参ります。



内科医

はなふさ しんや

花房 辰哉

趣味 絵画(水彩画)
好きな食べ物 寿司・焼肉
挑戦したいこと 釣り

平成29年10月1日付けで関西サナトリウムに赴任して参りました花房と申します。赴任前は約16年間内科開業医として勤務して参りました。また同時進行で在宅診療も行って参りましたが、認知症の精神症状を有する患者様も多く、精神科領域の必要性を次第に抱くようになり、この度、関西サナトリウムとご縁をもたせて頂くことになりました。

今後、内科一般診療に加え、精神神経疾患をお持ちの方の診療に携わらせてもらえれば幸いです。

地域連携室だより

診療体制の強化について

関西サナトリウムでは、診療体制の強化を目指し、この度、内科医を1名迎えることになりました。

従来の精神科外来に加えて、新たに内科診療と物忘れ外来を立ち上げる準備を行っております。

地域のかかりつけ医として困ったらまずは関西サナトリウムと皆さんから思っただけますようこれからも頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

地域医療連携室では、患者様や家族様が安心して医療・福祉サービスを利用できるよう、精神保健福祉士が相談を受け付けております。受診や入院に関する事や各種福祉制度を利用したいといった場合等 お気軽にご相談ください。

相談内容

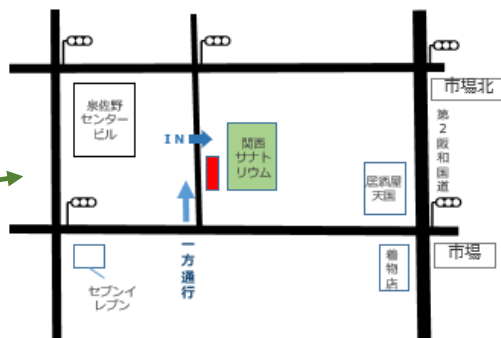
- ・受診や入院の相談
- ・障害年金や障害者手帳の申請相談
- ・障害福祉サービス・介護保険の利用相談 等

診療時間表

	午前	午後
	【初診】9:00~11:00 【再診】9:00~11:30	【初診】13:00~16:00 【再診】13:00~16:30
月曜日	○	休診
火曜日	○	休診
水曜日	○	○
木曜日	○	休診
金曜日	○	○
土曜日	○	休診
日曜日	休診	休診

地域医療連携室
担当 藪 仲井 鍵田 谷口

交通アクセス



○電車でお越しの方 南海泉佐野駅下車 南南東400m (徒歩5分)

○車でお越しの方

阪神高速湾岸線「泉佐野IC」より南東へ1km

関西空港道「泉佐野IC」より国道26号線右折→「市場」交差点を左折→200m右折

